

選手の皆さん、おはようございます。第43回大阪府高等学校囲碁選手権大会に、出場してくれて、ありがとうございます。

まずは、この大会のために会場を提供していただきました大阪商業大学の谷岡学長様をはじめ、大会のためにご尽力いただきました関係団体の皆様に深く感謝申し上げます。そしてお休みの中、本大会の運営、子どもたちの引率、並びに平素より囲碁の普及とご指導にご尽力いただいております役員及び、各校顧問の先生方に改めてお礼申し上げます。誠に、ありがとうございます。併せて、円滑な大会の進行にご協力いただきますよう、よろしく願い申し上げます。

本日は、お忙しい中、日本棋院関西総本部から、円田秀樹（エンダヒデキ）九段に、お越しいただいております。皆さん、ご承知の通り、円田九段は、現在eテレで、毎週日曜12時から放映の「NHK囲碁 囲碁フォーカス」で、解説をされておられます。ホントに、気さくで楽しい囲碁指導で、私も毎週欠かさず、見ております。本日は、この後、指導碁をしていただきます。どうぞ、よろしく願いたいします。

ただ、今日のNHK囲碁では、円田九段のご指導は、ございません。12時から4時間の生放送で、「第31回テレビ囲碁アジア選手権日本大会」が中継されます。日中韓のテレビ棋戦の優勝者、準優勝者が出場される歴史ある国際棋戦です。日本からは、一力遼（イチリキリョウ）八段と井山裕太（イヤマユウタ）九段が出場されます。そして今、注目の仲邑菫（ナカムラスミレ）初段や、台湾の黒嘉嘉（ヘイ・ジャアジャア）七段も応援ゲストで登場されます。私は、もちろん、ビデオに予約録画しております。帰ってから、見るのを楽しみにしております。

私は、漫画やアニメが大好きです。四條畷高校での私の挨拶では、必ず漫画やアニメのセリフが出てきます。囲碁の漫画といえば、何と言っても「ヒカルの碁」。「ヒカルの碁」にも国際棋戦が登場します。そこで今日は、「ヒカルの碁」最終局第189局の、主人公 進藤ヒカルのセリフを紹介しましょう。国際棋戦の北斗杯で、韓国の高永夏（コヨンハ）に、ヒカルは、半目負けしました。終局後、高永夏が「対局前に何か言いかけていたよな。聞かせろよ。」と言ったときのヒカルのセリフ。

「なぜ碁を打つのか。答えは、はっきりオレの中にある。

遠い過去と遠い未来をつなげるために、その為にオレはいるんだ。」

この最終局は、「ヒカ碁」ファンの中で、評価が分かれています。「良かった」という評価もあります。「なんで、少年ジャンプ連載漫画の最終回で、主人公が負けんね。『友情・努力・勝利』ちゃうんか！」との意見もあります。紹介したヒカルのセリフも難解で、いろんな解釈ができますが、私は、単純に、どんなことがあっても囲碁を打ち続けるというヒカルの決意の表れだと思っています。皆さんも、2500年以上も綿々と続く囲碁の歴史の継承者です。皆さんの今日の対局が、新たな囲碁の歴史を刻み、遠い過去と遠い未来をつなぐことでしょう。そして、囲碁を通じて、世界の人たちとも、つながって欲しいと思います。この大会は、7月22日から24日に、東京の日本棋院本院で開催される「第43回全国高等学校囲碁選手権大会」の予選も兼ねています。全国大会出場をめざすもよし。多くの人との対局で、棋力向上をめざすもよし。円田九段に指導碁をお願いするもよし。認定戦で、段位・級位の認定を受けるもよし。今日は、「囲碁三昧」の一日にしましょう。そして、勝って驕らず、負けて腐らず。「私と打ってくれてありがとう」との、相手に対する感謝の気持ちも忘れずに。本大会での皆さんの健闘を祈り、開会のごあいさつといたします。がんばってください。